



芳工連だより

‘23/02
第 224 号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 渡辺 信夫

■ 新春賀詞交歓会を3年ぶりに開催

賀詞交歓会を1月13日(金)、ホテル東日本宇都宮において3年ぶりに開催しました。会員企業34社から59名のご参加をいただき盛大な賀詞交歓となりました。また、来賓として芳賀町から見目匡町長、赤澤幸男建設産業部長、大根田淳一商工観光課長、芳賀町議会から小林俊夫議長、江間田信一産業建設常任委員会委員長のご臨席をいただきました。

司会進行は、岡田等総務企画部会長が務めました。

種子俊明副会長は「多くのご来賓と会員企業関係者多数のご参加をいただき誠にありがとうございます。主催者として大変嬉しく思います。私は初めての参加ですので楽しみにしていました。皆様も楽しんでいてください」と開会の挨拶を述べました。



< 種子俊明副会長 開会挨拶 >

■ 浦野会長が主催者あいさつ

主催者を代表して浦野誠会長は「新年明けましておめでとうございます。本日は、多くの会員企業の皆様のご出席とご来賓多数のご臨席をいただき、芳工連の賀詞交歓会をこのように盛大に開催できますことを慶んでおります。

役員で色々検討した中で、本日3年ぶりに開催することができました。いまだにコロナウイルスへの配慮が欠かせない日々が続いておりますが、普段レベルの生活ができそうな明るい兆しも見え始めています。企業活動、個人の生活ともに、暫く続いている疲弊した環境から脱却すべく、如何に「共存」するかへ意識を変えていく必要性を強く感じます。

昨年の芳工連の活動においては、屋内から少しばかし屋外に目を向けた活動を実施しました。栃木県県土整備部長への道路整備の陳情、産業労働観光部長との意見交換会を通して県の施策を共有しつつ、工業団地内の困りごと、環境改善も直に共有させていただきました。また、町長と役員との懇談会を開催し、身近な出来事、要望など直接の情報交換の場を設けさせていただきました。芳賀町工業団地に関係する方々に実りある施策に向けた協議を図ることができました。この様な一つの屈託のないダイレクトなコミュニケーション活動が、「活性化」「信頼関係」「絆」の確保に繋がっていると実感した次第です。



< 浦野誠会長 挨拶 >

今後も県・町・芳工連において一方通行ではなく、双方に有意義となるような活動にし、工業団地内の企業全ての関係者が「働き易く」、近隣住人の方々を含めて「安全・安心に生活し易い」環境づくりに引続き関与したいと考えています。工業団地内の企業間の連携強化、「助け合い」の基盤づくりに取り組むとともに、一層の町と企業、更には県とのつながり連携を太くし、『共』を合言葉に活動いたします。引き続き、行政・会員企業の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします」などと挨拶しました。

■ 来賓あいさつ

見目匡町長は「町長就任時から芳工連との積極的な交流の中で、道路渋滞がひどいと要望があり、高根沢町・市貝町・芳工連とで宇都宮向田線大塚工区整備促進期成同盟会を結成。県とともに国土交通省などへの陳情や県道路整備促進期成同盟会の大会での説明を通して、計画より2年前倒しで平成31年3月にバイパスが開通。しかし、道路が4車線でも板戸大橋が2車線では問題ではないかと知事に要望し、芳工連とともに活動してきた結果、令和9年に4車線化されることになりました。

第2工業団地も完売し順次工場が建設され、8月にはLRTが開業し、同時に工業団地内の循環バスを運行して利便性の向上を図ります。更に板戸大橋も4車線化になれば益々便利になります。

また、工業団地近くに約6haの宅地造成を計画中ですので、スピード感をもって進めたい。自分が住んで、働いている町が大きく伸びるので、こうした計画を町と芳工連が連携して、しっかりと進めなければならないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

芳工連が会長を中心に団結して、益々すばらしい工業団地に発展して下さるようお願いいたします」などと挨拶しました。

小林俊夫議長は「企業を取り巻く環境は、原材料の高騰、円安の影響、カーボンニュートラルの実現など厳しいものがありますが、これらを克服していかなければなりません。芳工連の皆様と町、議会、商工会が共存して経済発展に繋げていきたいと思っております。うさぎ年にあやかり益々前進して下さるようご参会の皆様のご多幸と発展をご祈念申し上げます」などと挨拶しました。

■ 祝 宴

芳賀町議会江間田信一産業建設常任委員長による乾杯発声で祝宴が始まりました。

ソフトドリンクでの乾杯・宴席でしたが、3年ぶりの開催で、再開を喜ぶ方、初参加の方も名刺交換やご挨拶で会場は賑やかとなり、暫し歓談の時間を過ごしました。

和やかなうちに歓談することができ、大変有意義な賀詞交歓会となりました。



<見目匡町長 祝辞>



<小林俊夫議長 祝辞>



<江間田産業建設常任委員長 乾杯発声>

宴たけなわではありましたが、中締めを務めた富永英夫副会長は「町が精力的に活動していただいた結果、工業団地の周辺道路が整備されました。また、念願の板戸大橋4車線化が2027年度に供用開始になります。改めて、物事は継続的に活動していかない限り、具体化してこないと強く感じました。今までの町の努力、尽力に改めて感謝申し上げます」と挨拶し、一本締めでお開きとなりました。



<富永英夫副会長の中締め>



■ 芳賀町新春の集いに正副会長出席

芳賀町新春の集いが1月11日(水)、芳賀町民会館で開催され、町議会議員、自治会長ほか各種団体の代表者など約80名が出席しました。

芳工連から浦野会長、富永副会長、種子副会長と事務局長渡辺が出席しました。

見目匡町長は「8月に開業を予定しているLRT（次世代型路面電車）が4月から町内でも試運転が始まります。開業時には工業団地内の循環バスをJRバス関東様をお願いして運行開始します。また、芳賀第2工業団地も完売となり、かしの森公園の再開発や工業団地近く（下原地区）には新たな住宅団地の開発を計画中で、芳賀の工業団地の付加価値をもっと高めていきたい」などと挨拶しました。



<見目町長 挨拶>

来賓祝辞で浦野誠芳工連会長は「コロナに加え、物価が上がり、欲しい物は入らず、更には円安、と企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。そうした中、コロナについては徐々に普段レベルの活動へと変わってきており、他の課題もいずれ解消されると思っています。苦しい時こそ、いかに皆様方と共存していくかを常に意識し、県・町・芳工連において一方通行ではなく、双方に有意義となるような活動をし、環境改善が具現化するよう連携を密に「助け合い」の基盤づくりに取り組みたいと考えています。



<浦野会長 祝辞>

今朝の新聞に 2027 年板戸大橋4車線化の記事がありましたが、町のサポートもいただき、県への陳情により実を結ぶことができ感謝申し上げます。

芳賀町に根付いた企業活動を通じて、皆様と助け合いながら良い環境づくりに努めてまいりますので、引き続きご協力の程よろしくお願いたします」などと挨拶しました。

この後、県央まちづくり協議会の新見徹常務理事が「町外・民間からみたこれからのまちづくりと芳賀町の可能性」と題して講演し、LRTの活用や芳工連との連携による町の活性化策などの提言がありました。



<新見常務理事 講演>

■ お知らせ

- ① 2月6日(月)から3月末まで、管理センター北側出入口が工事のため使用できません。

これに伴い、体育館南側駐車場の東半分をスクールバス旋回に使用するため、駐車禁止とさせていただきます。ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、駐車場が満車の場合は、JRバスターミナル北側の町駐車場をご利用ください。



- ② 2月15日(水) 夜間から管理センター体育館のバスケットゴールが使用可能になります。

吊り下げ式バスケットゴールの修繕を2月15日の日中に行いますので、当日の夜間から使用できるようになります。この間、ご不便をおかけして申し訳ありません。

- ③ 2月24日(金) 管理センター事務所を臨時休館します。

芳工連会員企業他事業所訪問のため事務所を臨時休館します。なお、事前に予約をいただければ小会議室を除く会議室、体育館は使用できます。

芳工連日誌



<工事が進む芳賀トランジットセンター>

【1月の実績】

- 5日 仕事始め
- 11日 芳賀町新春の集い
- 13日 芳工連賀詞交歓会
- 17日 団管連幹事会
- 25日 資源ごみ回収
- 27日 町商工会理事会

【2月の予定】

- 9日 知事との意見交換会 (団管連主催)
- 22日 資源ごみ回収
- 24日 会員企業他事業所訪問
- ~25日 (本田技研工業(株)PG 鷹栖)